

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年10月17日

BMJ:

入院者増加を受けて、ブースターワクチン接種が勧められている

## 【松崎雑感】

イギリスでは4月のピークに続いて、9月からコロナ感染者が急増しています。これを受けて、イギリス政府はまだ一回も接種していない人々を含めて、ワクチン接種を勧奨しています。

この2年間を見ると、新型コロナ感染の犠牲者（重症化、死亡）を減らすための最大の武器がワクチン接種でした。もう3回受けたのにまだ必要かと思うかもしれませんが、前回の接種から時間が経っている場合、もう一度ワクチンを受けることをお勧めします。あなただけでなく、周りの愛する人々のために。

# イギリスの新規感染者が急増中

(1日に新しく確認された感染者数)



(出典: 英保健省 9月12日現在)

入院者増加を受けて、ブースターワクチン接種が勧められている

Mahase E. Covid-19: Booster vaccines rolled out as hospital admissions rise. *BMJ*. 2022;379:o2484. Published 2022 Oct 14.  
doi:10.1136/bmj.o2484

新型コロナのブースターワクチン接種をもう一度受けた方が良いと言われるのはなぜですか？

新型コロナワクチンのブースターワクチンは、重症化を防ぐために接種されます。この2年で多くの人々が3階から4回ワクチンを受けています。しかし接種から6か月ほどで免疫力が落ちます。がんなどを持つ人々などではさらに低下します。

予防接種に関する合同委員会（JCVI）は、追加のブースター接種について「この冬にどれくらいの規模で流行が起こるかは確実に予測できないが、この冬の大きな流行に備えて追加接種を行なう必要がある」と述べています。

ジフテリア、破傷風、ポリオでは、ブースター接種を行なうことが通例となっています。

## 新たな変異株にもこのブースター接種は効くのですか？

今回接種するワクチンは、オリジナル株とオミクロンBA.1に効果のある二価ワクチンです。医薬品・ヘルスケア製品規制庁は、モデルナの二価ワクチンがオリジナル株とBA.1だけでなく、BA.4/5に対しても高い免疫反応をもたらすと述べています。

## 新型コロナで入院する人々は増えているのですか？

イングランドでは、9月下旬から10月はじめにかけて入院患者が3割以上増えました（5930人→7904人）。

英国保健安全保障庁（UKHSA）は、イングランドでは、10月の最初の1週間でアウトブレイク件数が270から370に増えたと報告しています。イングランド北部では10万人あたりの新型コロナ入院患者は15.84人になりました。

UKHSAの公衆衛生部長マリー・ラムゼー氏は「感染者数と入院数が増えていることに対応するため、今回のワクチン接種を勧めます。まだ一回も受けていない方も是非とも打ちましょう。感染して死亡する方が増え始めています」と呼びかけています。

この新たな流行はイギリスだけに起きているわけではありません。

欧州委員会委員のステラ・キリアキデス氏とWHOヨーロッパ地区代表ハンス・クルーゲ氏、欧州CDC代表アンドレア・アモン氏は、共同で、「不幸なことに、欧州で新たな流行が始まりました。ワクチン接種などあらゆる対策を行って、感染に弱い人々を守る事業を勧めなければなりません」という声明を出しました。

誰がこのブースター接種を受けられるのですか？

イングランドの2600万人の市民がこの秋に接種できます。50歳以上の人々および、5歳以上で基礎疾患のある方ならびに家族に免疫低下疾患のおられる方が対象です。

16～49才の人々では、高齢者のケアラー、高齢者施設で働く人々、医療ケアを受けている患者さんであれば接種を受けられます。

どれくらいの人々がこのブースター接種を受けているのですか？

UKHSAによれば、イングランドの接種対象者の30%前後がすでに接種を受けています。

インペリアルカレッジ・ロンドンのプライマリケアと公衆衛生部門代表であるロンドンの家庭医アジーム・マジード氏は本誌にこう語りました。

「巷では、もう十分コロナワクチンを受けてきたから、追加のブースターを受ける必要があるとは思わないという声が多いようだ。政府は、冬が来る前に、しっかり免疫を付けておくことが必要だと、しっかり市民に知らしめるべきだ。一人一人の市民を守るためだけでなく、NHSという医療システムに大きな負担をかけないようにするためにもワクチン接種推進が必要だ」

追加接種を躊躇する人々に対して、地域でのワクチン接種推進活動を進めているアジード氏は、重症化、入院、死亡リスクを減らすうえで大きな効果があることをしっかり伝えるべきだと語っています。

「NHSやUKHSAなどが発信しているオンライン情報にアクセスすることも勧めています」と。